

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立新居浜特別支援学校
学校番号 (59)

評価実施日

平成 31年 2月 20日 (水)

委員

氏名	所属等	備考
大江 真輔	社会福祉法人 わかば会 障がい児者相談支援事業 相談支援専門員	
大西 悦子	絵手紙サークル「ゆめの会」代表	
佐々木 龍	新居浜医療福祉生活共同組合理事長	
豊田 昭男	新居浜市社会福祉協議会 (中萩支部長)	
三並 保	新居浜市中萩校区連合自治会 (会長)	
矢原 友美	P T A会長	
大江 泰代	P T A副会長	
桑原みさお	P T A副会長	
工藤あづさ	P T A副会長	
篠原 健二	P T A副会長	
東野 実里	P T A副会長	
松本 紘枝	P T A副会長	

評価・提言等

提言等に対する改善方策等

1 今年度の最終評価について

(1) 学習指導

いろいろな工夫をしているのが分かる。授業の内容や子どもの自立などに関する項目で「わからない」という回答が減少するようにしていけばさらによいのではないか。

・学習内容やそのねらいと成果について、学部会や学年会で教員間の連携を密にするるとともに、保護者とも情報を共有するよう心がける。また、児童生徒にどんな力が身に付いたか、客観的で分かりやすい評価の方法を確立する。

(2) 児童生徒会活動

児童生徒、保護者ともに他の項目と比べて「わからない」という回答が多い。児童生徒会がどのような活動をしているのか、もっとアピールしたらよい。

・ホームページ上での発信や、生徒会新聞、校内掲示などを通して、児童生徒や保護者に活動内容を積極的に紹介していく。

(3) 進路指導

キャリア教育、進路指導については保護者向けの進路研修等を実施することで評価が上がるのではないか。

・企業や事業所から保護者が説明を聞ける機会を設けているが、早期から進路意識が高まるように、小学部や中学部の保護者にも積極的な参加を呼びかける。

(4) P T A活動

P T A活動の活性化に関する評価が前年度より下がっているが、より多くの保護者に参加してもらえる活動の在り方を工夫する必要がある。

・ここ2年ほど、参加する方としない方の差が大きくなっている。全ての保護者に参加を強制するものではないが、P T A活動に関心を持っていただけるよう、一人一役制の復活等についても検討していく。

2 学校運営への提言

- (1) キャリア教育において、「働く意味」について考える機会があるとよい。先輩の体験談などを聞くのはどうか。
- (2) 新居浜商業高校の通級教室など、他の学校に在籍する障がいのある児童生徒の支援方法に関して助言してあげてほしい。
- (3) 保護者間のつながりを深められるように、行事の後などに懇談の場を設けるのはどうか。
- (4) 卒業生の保護者から、子どもが就労するまで親としてどのように取り組んできたのか体験談を聞きたい。

- ・今年度は校外学習やキャリアガイド教室で子どもたちが先輩の働く姿に触れる機会を設けたが、さらに就労に対する意識付けにつながるよう工夫したい。
- ・センター的機能の充実には今年度も取り組んできたが、他校におけるニーズの高まりに応じてさらに協力できる態勢を整えたい。
- ・校内で場所や時間を確保するのが難しい面もあるが、無理のない形で実施できるようにであれば検討したい。
- ・子どもの特性が一人一人異なるので保護者の取組もそれぞれかと思われるが、お話ししてもらえらる方がいればそのような機会も設けたい。